

第4回ふれあい懇談会でいただいた意見

開催場所：一宮市

第4回ふれあい懇談会で頂いた意見

意見は原文のまま記載してあります
ご発言で頂いた意見は意見内容を要約して記載しています。

開催会場	意見内容
一宮市	「保全すべき樹木」として、防風雨、防熱(温暖化防止)等、地域に貢献している樹木も追加記載してほしい。
一宮市	「伐開すべき樹木」として、具体的箇所として坂祝が記載されているが、上・下流域についても継続的に検討をお願いしたい。
一宮市	外来種の対応については、全国的な問題であり、今後も継続的に考えてほしい。
一宮市	砂礫河原の再生は良いが、河川景観や保全すべき樹木の観点から示されているイメージ写真のとおりで本当に良いのか疑問である。
一宮市	木曾川左岸41～42k付近の樹木は、不法投棄も多く、河川巡視にも支障をきたす。2年ほど前に試験的に伐採したが、すぐに生い茂ってくる。継続的に伐採してほしい。 附図では、この周辺の伐開は点線表示であり、部分的にしか実施されないと思われる。全面的に伐開をお願いしたい。
一宮市	川と人とのふれあい増進の考え方については、今までの意見をふまえてよくまとまっている。地元NPOにおいて、木曾川の風景、歴史文化、二線堤の保全・活用を総括したもので「日本風景街道」の登録を検討しており、国としてもご指導とご協力をお願いしたい。
一宮市	市民活動として、月1回河川のゴミ掃除を実施している。掃除の度に手袋やゴミ袋が必要であり、その費用負担も大きい。援助をお願いいただけないか。
一宮市	ヤマトシジミを既往最大洪水のときにも生かしておくために890億×65%もの予算を使うのは、緊急に本当に必要なのか。別水系から微生物も含めて水を持ってくることは環境の攪乱である。きちんと議論していただきたい。治水予算が減ってきている中、優先順位からみて、他にやるべきことがあるのではないかと。導水路計画に対して愛知県として300億円も出すのが本当に妥当なのか。
一宮市	この河川整備計画の策定スケジュールが導水路事業を来年度予算に位置づけることから逆算して立てられている。これは、河川法改正の趣旨とは随分と違っている。
一宮市	参加者の少なさについて 木曾三川の流域住民の中で、「河川法16条2項の流域住民の声を計画に反映させる」と言う事を知って参画した住民が今回の参画を見て何人が知っていて参画したか。啓発が徹底周知されていない。
一宮市	犬山より下流の左岸に、江南市草井町の遊歩道、江南フラワー公園、138公園、大野公園、光明寺公園、水辺プラザ尾西迄の間を遊歩道サイクリング道で連けい出来る様な計画が欲しい。途中ベンチもトイレ等の場所もない。
一宮市	名鉄犬山橋上流右岸(鵜沼南町7丁目) ワンド再生計画があるが、以前砂れき河原が現川巾の1/3までであった。ワンド再生計画に砂れき河原の再生を含めて検討してほしい。
一宮市	(木曾川左岸67k付近)美濃加茂市太田町からの景観で、可児市土田側の竹林は景観と自然堤防の土の流出を防ぐのには必要であり、今後も竹の管理は必要ではないか。
一宮市	(木曾川)40k付近笠松競馬南で不法投棄が特にひどいため監視カメラを設置していただきたい。
一宮市	(木曾川)41k～42k地点に監視カメラの設置をお願いします。
一宮市	木曾川左岸40k～43k 40k～42k付近の河川巡視に支障となるべき樹木の伐開を進めて貰いたい。
一宮市	木曾川左岸40k～43k 不法投棄への対策で啓発活動の実施をして貰いたい。
一宮市	今回の利水計画は国営公園整備と連動してますか。国営公園のことも議論してください。
一宮市	キソガワフユユスリカ対策 堤防添の住民の方々は大変こまっている。

第4回ふれあい懇談会で頂いた意見

意見は原文のまま記載してあります
ご発言で頂いた意見は意見内容を要約して記載しています。

開催会場	意見内容
一宮市	護岸のコンクリートブロックが樹木の根によって浮き上がっている所が多数ある。
一宮市	堤防添いの樹木伐開を進めてほしい。
一宮市	治水機能が充実されて初めて環境への配慮が考えられる。河川管理の基本理念と思う。
一宮市	加茂川排水機場のポンプ増設は木曽川本流の増水時の管理と合わせて整備が必要である。
一宮市	名鉄犬山橋上流右岸（鶴沼南町7丁目）1．樹木群が、人が川に近よることができない。人が川にふれあえる樹木群にしてほしい。
一宮市	(治水・維持管理)木曽川の「堤防整備」で、42.0～42.1kmの区間での詳細内容はどのようなのですか。
一宮市	「ふれあい懇談会で頂いた～考え方について」 10/20の岐阜会場では「主な意見」は導水路問題に集中した。笹森課長が（10/20それ以前までの）導水路事業についての説明をやり返さざるをえなかったくらいである。なのに、本日の「～考え方について」では導水路問題をとりあげていない（出された問題を切りわけて部分的に答えているが）、恣意的な「ご意見聴取」となっている。
一宮市	河川法16条の2の運用について 「関係住民の意見」を、身近といえは聞こえは良いが、目先表面上の問題に限局しようとしている。河川法改正（1997）は、長良川河口せき等大型事業への異論があって行われた。大型の新規事業への意見を意図的に封じるような河川法16条の2の運用は、改正趣旨を踏みにじるものである。
一宮市	導水路事業（及びその調査）にかかる工事については何の提示もないのですか？
一宮市	河川整備計画原案(案)P3-33(2) 2行め 溶存酸素量 量は、流量にも依存するので、課題とする指標は濃度であるべき。だから、溶存酸素量 溶存酸素（濃度）の低下とするのが良い。
一宮市	河川整備計画原案(案)P3-33(2) 4行め～5行め 溶存酸素量 量は、流量にも依存するので、課題とする指標は濃度であるべき。だから、溶存酸素量 溶存酸素（濃度）の低下とするのが良い。
一宮市	河川整備計画原案(案)P3-33(2)6行め 溶存酸素量の回復 量としない
一宮市	河川整備計画原案(案)P3-33(4) 9行め 栄養塩類の量の測定：測定するのは濃度であり、量は演算値である。だから、濃度の測定または量の観測。
一宮市	河川整備計画原案(案)P3-33(5) 1行め BOD等の化学的指標 BODやN.P.の化学的指標の他に濁度（SS）等物理的指標もある。だから、化学的指標 物理化学的指標とするのが良い。
一宮市	資料1表(3) 木曽川縦断計画図 40.4kの橋名 名神ではなく名鉄です。
一宮市	河川整備計画原案(案)P3-31表-3.1.37 川と人とのふれあいの増進に係る施工の場所（木曽川） 木曽川 水辺プラザ - 29.0K～35.5K 付近 機能の概要欄 高水敷整正、緩傾斜堤、遊歩道に加え、サイクリングロードを加筆していただきたい。
一宮市	ふれあい会議は毎年1回以上は行なってほしい。
一宮市	41k～42k地点の景観の整備について この地点には、名鉄本線とJR東海道線がありますが、車内から見た木曽川左岸が非常に雑で未整備の印象を受けます。
一宮市	この地点は、道路沿いが未整備であるため、リサイクル品等の大口のゴミの投棄が多いので早期に整備をお願いします。（ゴミが捨てやすい状況です）
一宮市	県道木曽川橋から名鉄木曽川橋の区間において、近年河床が高くなっており、木曽川の中に島ができ、だんだん大きくなっていますが、このまま放置しておいてよいのでしょうか。

第4回ふれあい懇談会で頂いた意見

意見は原文のまま記載してあります
ご発言で頂いた意見は意見内容を要約して記載しています。

開催会場	意見内容
一宮市	国交省は治水について第一に考え、他のことについては関係市町とよく協議し進めるとのこと、しかしながら関係市町との協議内容についての情報については殆ど一般市民には公表されていないのではないか。(協議内容結果)
一宮市	各務原市下中屋町向山の環境保持の為の開発もよろしく。現状はゴミ等も多いです。
一宮市	河川整備は安全を地域住民に示す事が第一であり、樹木伐採であれ、外来種対策であれ、なるべく自然が良いと考えます。
一宮市	不法投棄は、法が無法者にやさしすぎる点を変える事が第一と考えます。無法者が法によって守られることを無くすことが必要。

第4回ふれあい懇談会への意見

2007.11.17

近藤ゆり子

〒503-0875 岐阜県大垣市田町1-20-1

TEL/FAX 0584-78-4119

＜木曾川水系における河川法第16条の2の運用＞

図で見ると今回の「第4回ふれあい懇談会」は「ステージⅡの最終」のようです。

第2回で「整備計画素案(たたき台)」が出ましたが、第3回ふれあい懇談会(岐阜会場)での皆様のご意見を聴く限り、全くというほど理解されていませんでした。

さらにその後の「第8回木曾川水系流域委員会(07.11.06)」を傍聴しましたが、流域委員会の委員の方々も、「素案(たたき台)」をよくご理解していないか、大いに不満がおありなのか。いずれにしてもステージⅢに移行する前にもう一度流域委員会を設定せざるをえないことになりました(11月22日に第9回が行われる由、発表されました)。

なぜに、こんなにも「理解されていない」「説明が不足している」ものを、急ぎ河川整備計画として決定しなければならないのでしょうか?大いに疑問です。

結局のところ、「(徳山ダムに係る)木曾川水系連絡導水路」を整備計画に位置づけ、水資源機構事業として来年度予算をつける、という、(住民には無縁の)全くの行政だけの論理であることを進めているからだ、と断ぜざるをえません。

こういうやり方は、1997年改正で河川法16条の2を設けた(流域住民の声を計画に反映させようとした)趣旨を著しく蹂躪するものです。

＜「木曾川水系連絡導水路」事業は不要な金喰い虫＞

「(徳山ダムに係る)木曾川水系連絡導水路」事業は、誤った河川政策(特に過剰な水資源開発)の「ムダの上塗り」である、と考えます。市民・住民への説明も極めて紛らわしいものです(「異常洪水時には、(徳山ダムの水を)都市用水として補給して、生活に必要な水道の断水などが起こらないようになる」という誤解を意図的に作出しています)。

また、表向きには「長良川河口堰の取水とは関係ない」としつつ、愛知県・名古屋市の意向に沿って「長良川河口堰の取水を河口堰より上流で行う」調査をしております。

木曾川水系連絡導水路計画へ批判は「徳山ダムをやめさせ

る会」意見書として、第7回及び第8回木曾川水系流域委員会に提出しました。「木曾川水系河川整備計画」HPの第7回及び第8回木曾川水系流域委員会の参考配布資料の下のほうに「流域委員会に対して頂いた意見」としてアップされています。特に「木曾川水系連絡導水路計画の問題点」(伊藤達也・金城学院大教授)をご覧ください。

いずれにしてもこの導水路計画の起点となる「木曾鳴戸地点の維持流量」の根拠が、ヤマトシジミに関する旧い「水槽実験」データ(何らかの科学的根拠たりうるのかも不明)しかない、というのでは話になりません。

＜「財政的制約」で苦しむ水害常襲地帯/脆弱な堤防＞

木曾川水系でも、中部地方の他の水系でも(指定区間を含め)水害常襲地帯への対策は不十分です。そして河川管理者自ら堤防が脆弱であると認めて(宣伝して?)います。しかし大洪水に対処する施策は遅々として進んでいません。年々細っていく「治水特別会計」という枠の中で、優先すべきは何でしょうか?「既往最大の異常洪水時にヤマトシジミが斃死しないように(1994年洪水では絶滅していません、回復しています)」、治水予算から890億円×65%を投じることでしょうか?

徳山ダムでは、絶滅危惧種イヌワシ・クマタカも何の顧慮もせず、長良川河口堰で絶滅したヤマトシジミは「適切な補償をした」から構わない、という「環境への配慮」ぶりでありながら、新たに「環境のため」に巨額の投資をする、というのは辻褄が合いません。「要するに大規模公共事業をやりたいからやるのだ」としか思えません。

「治水事業は果てることのない事業である」とは河川管理者の言です。多くの住民が「治水」に求めているのは、まず破堤などによる甚大被害が生じないこと(特に人命が失われないこと)です。「異常洪水対策」と称して「ムダの上塗り/ヤマトシジミのための導水路」建設に膨大な予算を投じることなどではありません。(異常洪水時の対策についての代替案は、ずっと以前から私たちは提示しています)

真の洪水被害対策は「洪水調節施設や連続堤を建設して河道内に洪水を押し込めること」ではありません。そんなことは、河川管理者はとっくに告知であり、他の施策を選択して予算がつけられる制度も作っているではありませんか。

「木曾川水系河川整備計画」で、優先事項を間違えないで下さい。

以上

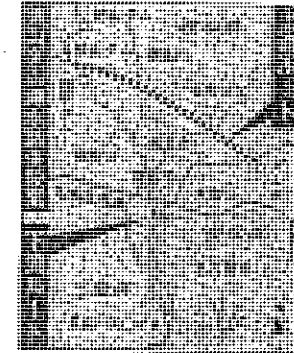
徳山ダム

導水路分割案で合意

3国と東海1市長良川にも放流

揖斐郡揖斐川町の徳山ダムでためた水を木曾川に引く木曾川水系連絡導水路事業について、国土交通省中部地方整備局と東海三県(岐阜、愛知、三重県、名古屋)は二十二日、名古屋市内で導水路検討会を開き、上流ルートに加え、下流で長良川と木曾川をつなぐルートを併設する「上流分割案」とすることで合意した。導水路事業は二〇〇八年(平成二十)年度から建設が始まる見通しとなった。

岐阜新聞



木曾川水系連絡導水路事業費用負担割合案

施設区分	費用	用途別	国	岐阜県	愛知県	三重県	名古屋
上流ルート	880.0億円	治水	70.0%	17.0%	30.0%	75.5%	7.5%
		治水	402.2億円	29.3億円	130.2億円	12.9億円	—
下流ルート	10.0億円	治水	70.0%	17.0%	30.0%	75.5%	7.5%
		治水	6.0億円	0.4億円	1.9億円	0.2億円	—
計	890.0億円	治水	45.9%	3.3%	14.8%	1.5%	—
		治水	408.2億円	29.7億円	132.1億円	13.1億円	—
		利水	—	—	61.0%	—	39.0%
		利水	—	—	186.3億円	—	119.1億円
		利水	—	—	—	—	100.0%
		利水	—	—	—	—	1.5億円
		利水	—	—	20.9%	—	13.6%
		利水	—	—	186.3億円	—	120.6億円

※実際の費用負担額は費用全体に各負担割合を乗じて算出されるため、上表の値と異なる。

ウツソウ! ドサクサに紛れて
長良川????も...?

ムダにムダを重ねる 導水路建設

あなたは、理解できますか?

河口堰建設で長良川のヤマトシジミを絶滅させた人たちが、
「木曾川のヤマトシジミを守る」ために導水路を建設すると言っていること。

許せますか? この仕組み。

揖斐川源流の自然環境と人々の暮らしを犠牲にして造った徳山ダムの水を、
木曾川と長良川の「自然環境を守る」ために 890 億円かけて導水するという仕組み。

あなたは、怒りと責任を感じませんか?

この 890 億円。あなたや未来をになう子供達が支払う血税と水道料金だということ。

「3県1市が、国が提案した上流案で了解し推進する姿勢」というニュースが発表されて、
1年もたたない間に上下分割案に変更! 予算要求! に。市民・国民不在、密室で進む
巨大プロジェクト。世論を恐れて急ピッチで進められる木曾川水系の「大改造計画」。その
「ねらい」と問題点を、「木曾川水系流域委員会」に提出した私たちの「意見書」をもとに
徹底学習・討論します。

● 基調講演: 「木曾川水系連絡導水路計画の問題点」

徳山ダムをやめさせる会 共同代表・金城学院大学教授

講師: 伊藤 達也

各方面からの問題提起と発言をいただき討論
します。資料代として 500 円いただきます。

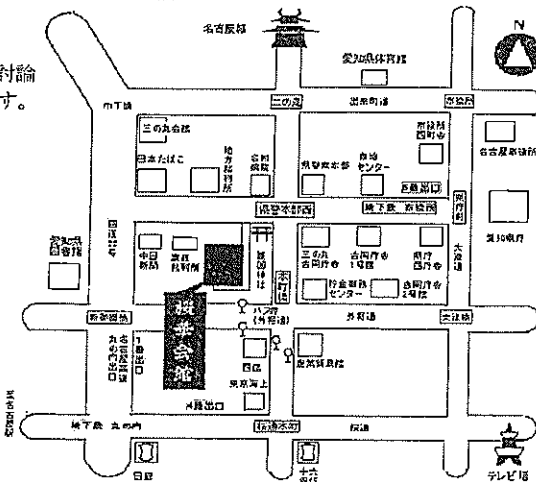
● 日時 11月24日(土)

午後1時30分~4時30分
(午後1時開場)

● 会場 桜華会館(富士の間)

(護国社の西隣)

地下鉄名城線「市役所」駅より歩いて8分
地下鉄鶴舞線「丸の内」駅より歩いて6分



主催 徳山ダムをやめさせる会/徳山ダム建設中止を求める会

(連絡先) 名古屋水道労働組合 (武蔵) 052-971-3105

徳山ダムの建設中止を求める会 (近鉄) 0584-78-4119

「元気な?」愛知・名古屋に

でら困った

水太郎がいる

主人公 水太郎のプロフィール
趣味: 公共工事
信条: 初志貫徹



第4回ふれあい懇談会でいただいた意見

開催場所：岐阜市

第4回ふれあい懇談会で頂いた意見

意見は原文のまま記載してあります
ご発言で頂いた意見は意見内容を要約して記載しています。

開催会場	意見内容
岐阜市	河道掘削による樹木伐開を行った5～10年後に復元できるような河畔林づくりが必要であり、復元にあたっては他所から苗木を移植するのではなく、現地にある樹木を根移植するようなことで再生をしていただきたい。また、竹林は管理できる範囲内のものに限り、それ以外は全部根っこ丸ごと伐開して欲しい。
岐阜市	忠節橋上流の左岸に突堤を設けているが、瀬と淵があり、泳ぐのによい。深いところを残して欲しい。
岐阜市	花田川で護岸の裏側に入り大きな穴が開くなど被害があった。ヌートリア対策について何か考え方があれば教えて欲しい。
岐阜市	農業用水の現状については、地下水と面積のコメントが定性的と定量的な表現が混在しており、資料の説明になっていない。実態を解明する為に委員会をつくって公に議論すべきである。こういった対策を講じたら水利が減じられるか検討すべきである。
岐阜市	田畑に住む生き物の為にも川の水をすぐに伊勢湾に流すのではなく、一定量を農業用水に回すことが必要である生態系を維持するという観点からも重要である。
岐阜市	根尾川について、河川管理者が上下流で変わっているが、交流はどういうふうに行われているのか。
岐阜市	原案(案)のP1-15に「本巣市根尾観測所において、最大時間雨量111mm」からはじまって「最高水位が記録された」とあり、これにより災害の発生の恐れのあるような記述がされているが、上流域及び下流域の河川管理者は、山口堰堤を責めるよりも管理者同士の話し合いで解決に向けて努力するのが前提ではないか。
岐阜市	導水路について、突然長良川に水を落とすという話が出てきた感があるが、岐阜市民はどんなメリットがあるのか心配である。また、何キロ地点で水を落とすのか。
岐阜市	徳山ダムで長時間滞留した水が横山ダム、西平ダムと溜まりながら来たら、藻類が多く発生していると思われる。この導水路によって長良川が良くなるとは思われないので、岐阜市民として止めて欲しい。長良川の水位が低いとき(川が疲弊しているとき)に藻類の多い水を流すのは止めて欲しい。
岐阜市	導水路を予算措置して実施したいのが、明らかである。整備計画策定において、多摩川方式でも2年4カ月掛かっているのに、お尻を区切って事業を位置づけるようなやり方は多摩川方式とも違う。河川法改正の趣旨を踏みにじるようなやり方に問題がある。導水路事業について、何のためにどういうお金を使うのか非常にわかりにくく、治水特別会計から860億円×65%を河口部のヤマトシジミが大切だからということを使う緊急性の意味が分からない。渇水時の地盤沈下を規制できないから、導水路事業に890億×65%を使うのは問題の転倒ではないか。床上浸水を避けるべきで、堤防強化等そちらに予算を回すべきなのに、それよりもヤマトシジミのための渇水対策を緊急に位置づけ、水機構事業として実施することが先に決まっているような木曾川水系河川整備計画のあり方について、強い異議を申し上げたい。
岐阜市	外来種について、揖斐川から長良川に導水路を通過して入ってくることにより外来種が拡散するのではないか。
岐阜市	愛知用水地域の水不足は解消すべきで、そのために揖斐川の水を持って行くことはやむを得ないが、それは丸山ダムをいつまでも造らないからである。
岐阜市	上水、下水、農業用水に何の支障もない長良川に導水するのは信じられない。下流部の人には誰も水に困っていない。生物の生息環境のためにも根尾川に少しでも水を送っていただきたい。長良川に揖斐川の水はいりません。
岐阜市	川の使用について 昔と今では川の使用の考えも変わってきています。人を川によびこむとか公園感覚の考えではなく川はながめて人の心をいやす整備などにもっていただきたい。

第4回ふれあい懇談会で頂いた意見

意見は原文のまま記載しております
ご発言で頂いた意見は意見内容を要約して記載しています。

開催会場	意見内容
岐阜市	連絡導水路について (1)必要性 - 今一つ判らない!!必要性を認めない。(2)環境 - 長良川は3川の (資料)を見ても悪くなる。中継は悪化が明白であり、やるべきではないと思われる。(3)木曽三川はそれぞれ特徴があり、この特性を破壊するようなことをするべきではないと思う。
岐阜市	導水管 計画の策定が行われ実施のとき地域関係諸団体、市町の連携了承があつての仕事。過去の話しあいに関係のもの呼びかけが必要。勝手に根尾川を横断、放流するな。根尾川上流部、発電所の水管理、水利用を検討すべき。
岐阜市	導水路について住民から「止めてほしい」と意見がありました。私も必要性が理解できませんので大金を使ってする必要がないように思います。あればどうしても必要である理由を教えてください。各務原市も必要でないと思います。
岐阜市	整備計画原案に希望が取り入れられ満足しています。
岐阜市	根尾川が一年中清い流れが見られる川になるようご努力をのぞみます。
岐阜市	根尾川の両岸(特に大野町側)の雑草と雑木が茂り川岸に近よることが困難な状態である。川岸を整地し、美しい根尾川にしてほしい。

第4回ふれあい懇談会でいただいた意見

開催場所：桑名市

第4回ふれあい懇談会で頂いた意見

意見は原文のまま記載してあります
ご発言で頂いた意見は意見内容を要約して記載しています。

開催会場	意見内容
桑名市	きそ・長良の背割り堤防の桜は誰が管理か？枯れたりしているのを国交省で対応願いたい。
桑名市	揖斐川左岸には何も施設がない。スポーツやレクリエーション施設がほしい。夜散歩したりする人がおおいけどない。海津市内（平田町）にも欲しい。
桑名市	下流の方の意見も具体的に出ているが、桑名市民の水に対する考えは敏感ある是非実施して欲しい。 多度から公園に行く揖斐川の油島大橋の中洲の樹木が橋の上まで伸びている。上の方の住民がとつても怖がっている。環境保全の対象にもなっていないようなので、対応願いたい。 二郷橋からコシキ迄の間の漏水、地盤沈下対策を示してほしい。 次に内水の対策、勢濃樋管から山除川があるが、現状見ると、自然護岸となっており、浸食が激しい。県と国交省で連携して対応願いたい。
桑名市	太田の特殊堤のところ、真ん中に水がたまる。前にも要望したが、また、同じ状況。蚊が発生する。東側はどんどん沈下するような感じである。道路の方の人は転居してもよいから、特殊堤の整備を願いたい。今がチャンスである。ジャッキで家を持ち上げたりしている状況だ。堤防が切れたら、昔の太田地区は浸水。吉田も田鶴もみんな被害に遭うのではないかと。できるだけ早い対応を願いたい。
桑名市	多度、肱江は90度に曲がった特殊。上流側に工場団地など開発が進んでいる。この肱江の90度の曲がったのがしんぱい。事業は継続しているというように言われるが、そのようにみえない。継続の考え方は？いつやってくれるのか。
桑名市	高潮堤防は河口から7.何kmというがもっと上流まで満ち引きがある。なんで7.何kmまでなのか。満ち引きのあるところは水位も上がるし、
桑名市	塩分が一番気になる。これがふれられていない。どうなっているのか
桑名市	占用は水と河川敷はあるが、家の占用はどうなっているのか、数はどうか、多度の占用料が倍になったという話がある。家の都合でなく、堤防の改修の都合で占用になり、桑名市に合併してそうなったといういきさつがある。
桑名市	耐震改修はたとえばどんなことを行っているのか。
桑名市	多度 水谷 水利権の問題。今の上流から取水されると言うことで、河川の整備についていろいろ考えるのはよいが、配慮が足りない。揖斐川から取水するが、塩分が遡上する。田んぼも枯れたりした。上流で取水されると、下流で困る。下流の実情もよく検討願いたい。話にも伺いたい。
桑名市	占用料も河川改修のために、占用料を払いながら暮らしているが、急に上がることで困っている人もいる。
桑名市	木曾三川下流域はシルト層で東海・東南海地震がおきた時に液状化が発生する。堤防が折れたり損傷すると思われるが、大丈夫か。そのあたりについて、どう考えているか。
桑名市	十万山は河口堰建設後、浸食が激しい。十万山が無くなると揖斐・長良が一体化し、川幅が広くなり危険であるので、十万山の保全をして欲しい。ヨシ原の自然再生も必要であるが、それだけではなく災害面からも十万山を保全した方がよいと思う。
桑名市	中須の暗渠の工事方法を考えて（最良の方法）して下さい
桑名市	中須橋改修と揖斐川までの本堤防の完工を早急にお願いします（多度町中須住民）
桑名市	堤防の拡幅 占用料問題により生活権への影響
桑名市	肱江川堤防を早急に整備していただきたい
桑名市	利水（水田用）確保地域 塩分が遡上しないように
桑名市	長良川左岸（長島町地内）近鉄から国道一号までの間、堤防道路に雨水が溜まり、危険。オーバーレイで補修して下さい。
桑名市	木曾川～揖斐川間の伊勢湾に面する護岸堤防の耐震補強を早急に進めてほしい
桑名市	木曾川左岸（長島町地内）国道23号の取付部が沈下し、危険な状態なので早期の堤防改修を望みます。
桑名市	肱江川 川床の整備をお願いします（中須住民）
桑名市	中須堤防工事の再開を至急頼みます（中須住民）